



# 第68期 中間報告書

平成29年4月1日～平成29年9月30日

## CONTENTS

- ごあいさつ
- セグメント別の概況
- トピックス
- 株式の状況
- 会社の概況
- 株主メモ

日本アビオニクス株式会社

証券コード：6946

## ごあいさつ



代表取締役執行役員社長

### 秋津勝彦

かな景気回復が見られるものの、一部地域における地政学的リスクの懸念や欧米各国の政策動向など、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

### 上期の業績について

このような事業環境における当社グループの上期連結業績は以下のとおりでございます。

#### 売上高の状況

情報システムの減少およびプリント配線板事業の移管に伴う沖電気工業株式会社グループ（以下、「OKI」といいます）へ受注切り替えが進んだことを受け、前年同期比8億4千万円減少の89億18百万円となりました。

#### 損益の状況

原価改善等に努めたものの、売上高が減少したことにより、営業損失は前年同期比3億95百万円悪化の4億99百万円、経常損失は前年同期比3億78百万円悪化の5億28百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、連結子会社である山梨アビオニクスにおける物件収去に伴う東海旅客鉄道株式会社（JR東海）からの補償金の収受として、14億77百万円を特別利益に計上したことから、7億2百万円となりました。

配当につきましては、誠に遺憾ながら普通株式中間配当金、第1種優先株式中間配当金および第2種優先株式中間配当金について無配とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては引き続き変わりなきご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

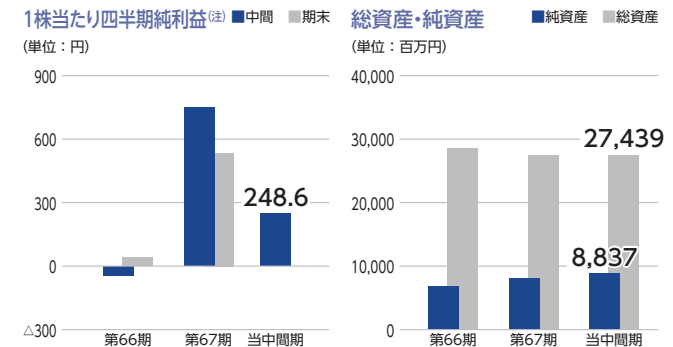
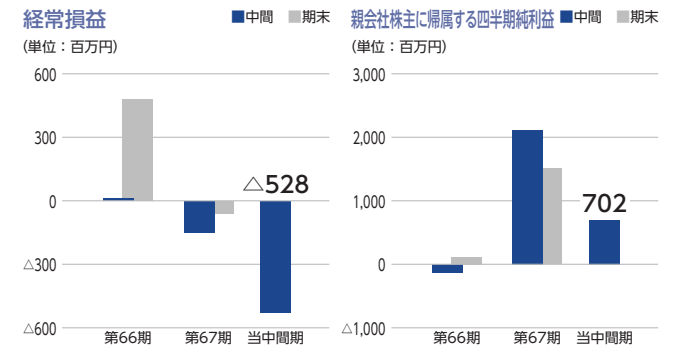
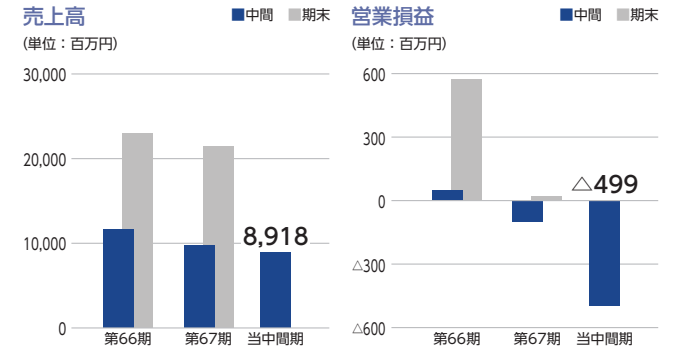
ここに第68期上半期（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）の事業概況等についてご報告申し上げます。

### 上期事業環境について

当上半期の事業環境につきましては、わが国経済の雇用情勢や企業収益の改善などを背景に、個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調で推移しました。一方、世界経済は緩やかな

## 連結財務ハイライト

売上高	8,918	百万円	(前中間期 9,723百万円)
営業損失(△)	△499	百万円	(前中間期 △103百万円)
経常損失(△)	△528	百万円	(前中間期 △150百万円)
親会社株主に帰属する四半期純利益	702	百万円	(前中間期 2,113百万円)



(注) 平成29年10月1日付の株式併合に伴い前年度期首(第67期)に株式併合が行われたと仮定して算出しています。

# セグメント別の概況

## ■情報システム

売上構成比率 **49.8%**

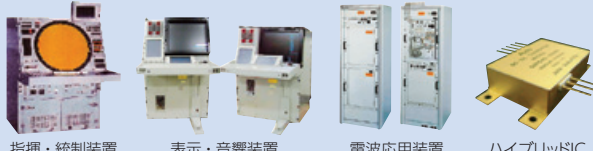
■売上高 **44億45百万円**

前年同期比 **17.9%減**

■セグメント損失(△) **△4億69百万円**

前年同期比 **4億4百万円悪化**

防衛省の国内調達減少の影響により、前年同期と比較して売上高は減少し、セグメント損失は悪化しました。



指揮・統制装置 表示・音響装置 電波応用装置 ハイブリッドIC

## トピックス

### 「高機能溶接モニタQC-450」・「高信頼性インバータ式溶接電源 NRW-IN400P」を発表

◆6月、自動車の電動化、高機能化などにより接合法が変化する自動車部品市場をターゲットに、新たな価値を提供する新製品を発表しました。

QC-450とNRW-IN400Pの製品画像につきましては、「セグメント別の概況」(電子機器)をご参照下さい。

#### 【高機能溶接モニタ：QC-450】

電流、電圧だけでなく、最大6種類のセンサの計測データを10項目まで同時に表示します。また計測したデータのうち2項目については履歴(ランチャート)を表示することで、接合上の異常を早期に検出できる指標とするなど、接合プロセスの「見える化」を実現します。更に、LAN機能を標準装備しており計測したデータをネットワーク経由で管理することが可能です。

#### 【高信頼性インバータ式溶接電源：NRW-IN400P】

溶接電流を流す溶接電源本体と、設定等を行なうオペレーションBOXを別ユニットとし“遠隔操作”を可能としました。これにより電源本体の操作が不要となり、自動車の製造ラインの任意の場所に組み込むことを可能としました。また、様々な形状や材料に対して高品質な接合を実現するため、127段階での電流の強弱の設定や、対象物に応じた電流の周波数の設定を可能としました。

## ■プリント配線板

売上構成比率 **11.0%**

■売上高 **9億80百万円**

前年同期比 **28.3%減**

■セグメント損失(△) **△2億81百万円**

前年同期比 **1億8百万円悪化**

事業移管に伴い、OKIへの受注切り替えが進んだことから、前年同期と比較して売上高は減少し、セグメント損失は悪化しました。



高信頼性フレックスリジッド配線板

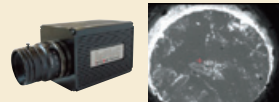
### 低放射率物質を温度計測する技術と新製品F50を発表

①7月、「赤外線反射の影響を除去し、金属などの低放射率物質の温度分布を非接触で正確に計測する技術」を開発し発表いたしました。この技術により自動車用の金型やロボットの小型化・軽量化開発、二次電池の材料研究加速に貢献してまいります。

②8月、マーケット・インの発想で4年ぶりの新製品「Thermo FLEX F50シリーズ」を発表いたしました。カメラヘッド脱着型機構とコストパフォーマンスを強みに、プラントの維持管理、中古住宅の性能評価、IoT向け電子部品の熱設計分野へ展開してまいります。

#### ①技術発表

「金属の表面温度を非接触で正確に計測する技術」



プロトモデルの外観写真 開発技術による測定画像例(溶融アルミ観測時)

#### ②新製品発表

「カメラヘッド脱着型 フリースタイル・サーモグラフィ」



Thermo FLEX F50シリーズ 下から覗き込んで測る

## ■電子機器

売上構成比率 **39.2%**

■売上高 **34億93百万円**

前年同期比 **18.9%増**

■セグメント利益 **2億52百万円**

前年同期比 **1億17百万円増加**

赤外線機器は海外売上高の減少等により減収となったものの、接合機器は顧客の深耕に注力し、アジア地域を中心にスマートフォン等の情報機器に使用される電子部品の小型化に対応する生産設備需要を取り込み、好調に推移し増収となったことから、全体としては、前年同期と比較して売上高およびセグメント利益は増加しました。

#### 接合機器



全自動シーム溶接機 NAW-7100 高信頼性インバータ式溶接電源 NRW-IN400P 高機能溶接モニタ QC-450

#### 赤外線機器



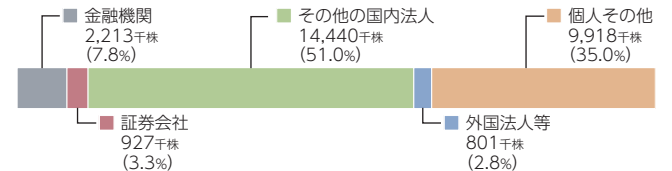
Thermo HAWK H9000 Thermo FLEX F50シリーズ InfReC TS600 シリーズ

## 株式の状況 (平成29年9月30日現在)

	普通株式	第1種優先株式	第2種優先株式
(1) 発行可能株式総数 80,000千株	76,000千株	4,000千株	1,500千株
(2) 発行済株式総数 30,600千株	28,300千株	800千株	1,500千株
(3) 株主数	3,649名	1名	1名

(注) 1. 第1種優先株式および第2種優先株式は、日本電気株式会社が全株所有しております。  
2. 当社は平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施し、また同日付で単元株式数を1,000株から100株に変更しております。

#### (4) 所有者別分布の状況 (普通株式)



# 会社の概況

## 会社の概況 (平成29年9月30日現在)

- 商号 日本アビオニクス株式会社
- 英文商号 Nippon Avionics Co., Ltd.
- 設立 昭和35年4月8日
- 資本金 58億95百万円
- 従業員数 971名(連結) 733名(単独)
- 証券コード 6946
- 拠点および事業所  
本社、横浜事業所、新横浜事業所、府中支店、中部支店、西日本支店
- 子会社  
山梨アビオニクス株式会社、福島アビオニクス株式会社

## 役員状況 (平成29年9月30日現在)

### 取締役

代表取締役	秋津勝彦	執行役員社長	秋津勝彦※
取締役	新井孝男	執行役員常務	井川裕三
取締役	上田勇	執行役員常務	上田勇※
取締役	延岡健太郎	執行役員	新井孝男※
取締役	望月愛子	執行役員	橋本隆
取締役	伊藤茂樹	執行役員	竹内正人
取締役	松本康子	執行役員	山後宏幸
		執行役員	室伏剛
		執行役員	大城宗宏
		執行役員	加賀田司

### 執行役員

### 監査役

監査役(常勤)	鈴木智雄	1. 延岡健太郎、望月愛子の両氏は、社外取締役であります。
監査役(常勤)	篠田亨	2. 伊藤茂樹、松本康子の両氏は業務執行を行わない取締役であります。
監査役	千原真衣子	3. ※の執行役員は取締役を兼務しております。
監査役	大貫篤繁	4. 鈴木智雄、篠田亨、千原真衣子の各氏は社外監査役であります。

(注)

# 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日  
その他必要のあるときはあらかじめ公告します。
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
- 事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) ☎ 0120-782-031  
(インターネットホームページURL) <http://www.smbt.jp/personal/agency/index.html>
- 公告の方法 当社のホームページに掲載します。  
<http://www.avio.co.jp/company/ir/>  
ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

## 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

- 証券会社に口座を開設されている株主様  
⇒ 口座のある証券会社宛にお願いいたします。
- 証券会社に口座を開設されていない株主様  
⇒ 上記電話照会先をお願いいたします。

## 当社ホームページのご案内

ホームページにて最新のIR情報等をご覧くださいませ。

<http://www.avio.co.jp>

日本アビオ

検索



## 日本アビオニクス株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田八丁目1番5号  
TEL. 03-5436-0600 <http://www.avio.co.jp>

